

2027年度日本大学文理学部 ドイツ文学科 総合型選抜募集要項

1 ドイツ文学科アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

日本大学は、「自主創造」の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉に寄与する人材の養成を目的としている。

この理念のもと、文理学部は、人文系・社会系・理学系にわたる各学科において専門知の基礎を学ぶとともに、「文」と「理」を架橋した深い教養とそれらを複合的に活かす実践力を身に付け、現代社会に貢献する人材の養成を目指している。こうした本学部の目的をよく理解し、自己と社会を変え、世界的な課題の解決に取り組む、強い意欲と情熱のある学生を望んでいる。

このような条件に合致する学生を受け入れるために多様な選抜方法を実施しているが、その前提として入学するには次のことを求める。

- 1 旺盛な知的好奇心を持ち、既存の考えに縛られない創造性がある。
- 2 ドイツ語圏の文学・語学・文化に関心を抱き、高度なドイツ語能力を身に付けた上で、ドイツ語圏文化の諸相を広く深く学ぶことを目指す学生。
- 3 様々な文化における人間・社会の複雑な働きについて考察し、問いを発することができる。
- 4 問題の解決に向けて、社会や世界に実践的に働きかけていく意欲がある。
- 5 日本語とドイツ語を中心とする基礎的なコミュニケーション能力を持っている。

2 募集人員

8名

3 出願資格

次の①～③のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または2027年3月卒業見込みの者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（高等専門学校の第3学年修了者等）または2027年3月修了見込みの者。
- ③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者（学校教育法施行規則第150条）

※ 出願資格③についての詳細は本学部入試係まで問い合わせること。

4 出願要件

次の①、②の要件を全て満たす者。A出願とB出願がある。

- ① ドイツ文学科のアドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）及び教育内容を理解した上で本学科を第一志望とし、合格した場合は本学科に入学することを確約できる者。
- ② 以下のいずれかの要件を満たす者。
A出願：ドイツ語ないしドイツ語圏の文学・文化・歴史・社会などについて、強い関心をもっている者。
B出願：ドイツ語既習者であり、ドイツ語学文学振興会主催「ドイツ語技能検定試験」3級程度のドイツ語力を有する者。

5 入試日程及び選考方法

出願から入学手続きまでの手順

① 出願手続（インターネット出願と郵送）

出願期間：2026年9月1日（火）～9月8日（火）〔簡易書留にて郵送必着〕

出 願 先：〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部入試係

出願方法：(1)インターネット出願サイト (<https://exam.nihon-u.ac.jp/guidance/net-nihon-u>) にアクセスしマイページを作成（マイページ作成の利用開始日は上記サイトに掲載予定。）

(2)マイページから出願情報の登録・入学検定料（35,000 円）の納入

※ いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

(3)出願書類一式を市販されている角2封筒に封入し、「宛名ラベル★」を貼付し、本学部入試係に簡易書留にて郵送（出願締切日必着）

出願書類：(1)出願確認票★（インターネット出願ののち、プリントアウトしたもの）

(2)出身学校調査書（出願資格①又は②に該当する者）

※ 最終学年1学期までの成績が記載された調査書（2学期制であれば最終学年前期まで、4学期制であれば最終学年2学期までの成績が記載された調査書）を提出すること。何らかの事情により、上記の成績を記載できない場合は最終学年前期（4学期制であれば2学期）中間までのもの、それも提出不可の場合は、最新の成績を反映した調査書を提出し、備考欄にその旨記載すること。

※ 外国の高校から応募の場合は、「成績証明書」「修了見込証明書」を提出すること。

(3)高等学校卒業程度認定試験合格（見込）証明書等（出願資格③に該当する者）

(4)志望理由書

(5)レポート「A出願」のみ提出（ドイツ語およびドイツ語圏の文学・文化・社会について関心のあるテーマまたは書籍を選んで自由にレポートを書くこと。字数は2000字以内）。

※ 「B出願」はレポート提出なし

★インターネット出願サイトで出願情報の登録・入学検定料の納入を完了するとインターネット出願サイトから印刷が可能になる。

※ 出願書類(4)、(5)は、文理学部ホームページからダウンロードすること。
(<https://chs.nihon-u.ac.jp/admission/sogo-test-youkou/>)

② 第1次選考（書類審査）

選考日：2026年9月24日（木）

選考方法：(1)志望理由書 (2)レポート（A出願） (3)出身学校調査書等の内容により第2次選考対象者を決定し、2026年9月26日（土）10時にマイページ内の合否案内で通知する。
なお、提出された書類等は返却しない。

③ 第2次選考試験

選考日：2026年10月10日（土）

選考方法：（Ａ出願）：(1)レポートについてのプレゼンテーション（発表時間５分程度）
 (2)面接（レポート、プレゼンテーションに関する口頭試問）
 （Ｂ出願）：(1)ドイツ語能力確認テスト（筆記試験，試験時間６０分）
 (2)面接（日本語並びにドイツ語による口頭試問）

※ オンライン受験票を持参すること。

※ 第1次・第2次選考により総合的に判定する。

④ 合格発表

発表日：2026年11月2日（月）10時

「インターネットによる合否案内」を実施する。インターネット出願サイトの「マイページ (<https://exam.nihon-u.ac.jp/nihon-u/mypage/login>)」内の「合否案内」より確認すること。

⑤ 入学手続期間

2026年11月2日（月）～11月13日（金）17時まで

「マイページ (<https://exam.nihon-u.ac.jp/nihon-u/mypage/login>) 」内の「オンライン入学手続メニュー」より入学手続期間内に手続を完了すること。

オンライン受験票

出願情報の登録，入学検定料の納入，出願書類の受付が完了したのち，第1次選考の選考日7日前の14時以降から取得可能となる。

オンライン受験票は、インターネット出願サイトの「マイページ」内の「出願内容の確認」の「オンライン受験票の印刷」より確認・印刷すること。オンライン受験票は、第2次選考試験の際に必要なになるので、印刷し、選考試験当日必ず持参すること。

出願における注意

身体の機能に著しい障害のある方は受験及び就学が困難な場合もあるため、出願前のできるだけ早い時期に必ず本学部入試係に相談すること。

6 学費等

2027年度入学者（ドイツ文学科）納入金（参考金額）

項 目	入学時納入金	9月納入金	備 考
入 学 金	260,000 円		入学時のみ
授 業 料	415,000 円	415,000 円	
施 設 設 備 資 金	95,000 円	95,000 円	
実 験 実 習 料	5,000 円	5,000 円	
後 援 会 費	15,000 円	15,000 円	
校友会費（準会員）＊	10,000 円		
合 計	800,000 円	530,000 円	

＊ 卒業年度に正会員会費初年度分を1万円納入。

※ 特定のコースや実習等を履修する場合、別途費用が発生する場合がある。

※ 納入金の返還手続について

入学手続完了後（入学時納入金を全額納入した後）に、やむをえない理由によって本学への入学を辞退する場合は、電話により2027年1月30日（土）17時までに入試係へ申し出ること。申し出を受理後、「入学辞退届」を本学より送付するので、必要事項を記入の上、速やかに返送すること。

手続き終了後、入学金を除く入学時納入金（諸会費等を含む）は返還する。ただし、いったん提出された入学手続書類及び入学金は返還しない。

なお、2027年1月31日（日）以降に申し出があった場合は、入学手続書類及び入学金を含む入学時納入金は返還しない（日本大学学生生徒等総合保障制度については、約款の定めるところによる。）。

※ 入学辞退の申し出を、本学が受理した後の辞退の取り消しは認めない。

7 入学時までに入学資格を満たしていない場合の取扱い

- ① 出願資格を「見込み」で出願し、入学時までに大学入学資格を得られなかった場合は、入学が許可されない。
- ② 出願資格を「見込み」で受験し、本学への入学手続を完了（入学時納入金を全額納入）した後に、入学時までに大学入学資格を得られなかった場合、入学許可は取り消しとなる。その際、入学時納入金から入学金を除いた金額（諸会費を含む）を返還する。

8 問い合わせ先

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部入試係 03-5317-9380

【個人情報の取扱いについて】

日本大学（短期大学部を含む）では、志願者の氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜の出願受付、実施、合格発表、さらには入学に至る一連の手続と、日本大学で学生生活を始めるに当たって必要となる書類・お知らせ等の送付及び入学者データの統計処理のために使用する。

なお、日本大学はこれらの業務の一部を業者に委託する場合がある。この場合、日本大学及び当該業務の委託を受けた業者は、上記利用目的の達成に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはない。

以 上